

復活のろうそくの祝福（試用版）

- 1 以下の式は、復活徹夜祭が行われなかった教会堂や礼拝堂で、復活の八日間中のミサ（復活の主日の場合は「日中のミサ」）あるいは「朝の祈り」の初めに任意で用いることができる。
復活のろうそくは1本だけ用意する¹。

ミサの中で行う場合

- 2 会衆が集まると、司祭はミサのための白い祭服を着け、火をともししていない復活のろうそくを運ぶ奉仕者とともに、教会堂の入り口、あるいは他のふさわしい場所に行く。復活のろうそくには、あらかじめ十字形に、五粒の香をつけておくことができる。
- 3 一同は起立する。司祭は定められた場所に着くと、たとえば次のような招きのことばを述べる。

司祭 皆さん、きょうわたしたちは、死に打ち勝ったキリストの復活を喜びのうちに祝います。
輝かしく復活されたキリストを表すこのろうそくを、
全能の父である神が祝福してくださるよう祈りましょう。

一同はしばらく沈黙のうちに祈る。

- 4 続いて司祭は復活のろうそくに火をともし。
- 5 司祭は手を広げて以下の祈りを唱える。

司祭 光の源である神よ、
あなたは御子キリストを世の光としてわたしたちに遣わし、
その死と復活の神秘によって、
暗闇の中にいる人類に永遠のいのちへの道を示してくださいました。
復活された御子キリストを表すために火をともしたこのろうそくを祝福 + してください。
わたしたちがいつもキリストの光に照らされて歩み、
信仰に生きる喜びを人々にあかしすることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

その後、復活のろうそくに献香をすることができる。

- 6 続いて、一同は入祭の歌を歌い、その間に司祭は復活のろうそくを運ぶ奉仕者や他の奉仕者とともに祭壇に向かう。祭壇に着くと、司祭は通常どおり祭壇に表敬して席に向かう。奉仕者は復活のろうそくを祭壇の近くに置き、復活のろうそくから火を取って祭壇のろうそくに火をともし。
入祭の歌が終わると、司祭は会衆に向かって「父と子と聖霊のみ名によって。」と唱え、司祭と信者は立ったまま自分に十字架のしるしをして、通常どおりミサを続ける。

¹ 教皇庁典礼省回状「復活祭の準備と祭儀について」（Congregatio pro Cultu Divino, Litterae circulares «De Festis Paschalibus praeparandis et celebrandis», 16 ian. 1988）82 参照。

「朝の祈り」の中で行う場合

7 会衆が集まると、司式者（司祭または助祭）は白い祭服を着け（司祭の場合はアルバとストラの上にプルヴィアーレを、助祭の場合はアルバの上にプルヴィアーレまたはダルマチカを着用する）、祭壇の近くに置かれた、火をともしていない復活のろうそくのところに行く。復活のろうそくには、あらかじめ十字形に、五粒の香をつけておくことができる。

8 一同は起立する。司式者は会衆に向かって立つ。

復活の主日の場合、自らの口に十字架のしるしをして歌うか唱える。

司式 **+** 神よ、わたしの口を開いてください。

答唱 わたしはあなたに賛美をささげます。

復活の月曜日から復活節第二主日までの場合、自らに十字架のしるしをして歌うか唱える。

司式 **+** 神よ、わたしを力づけ、

答唱 急いで助けに来てください。

司式 栄光は父と子と聖霊に、

答唱 初めのように今もいつも世々に。アーメン。
アレルヤ。

9 続いて、司式者はたとえば次のような招きのことばを述べる。

司式 皆さん、きょうわたしたちは、死に打ち勝ったキリストの復活を喜びのうちに祝います。
輝かしく復活されたキリストを表すこのろうそくを、
全能の父である神が祝福してくださるよう祈りましょう。

一同はしばらく沈黙のうちに祈る。

10 続いて、司式者は復活のろうそくに火をともす。

11 司式者は手を広げて以下の祈りを唱える。

司式 光の源である神よ、

あなたは御子キリストを世の光としてわたしたちに遣わし、

その死と復活の神秘によって、

暗闇の中にいる人類に永遠のいのちへの道を示してくださいました。

復活された御子キリストを表すために火をともしたこのろうそくを祝福 **+** してください。

わたしたちがいつもキリストの光に照らされて歩み、

信仰に生きる喜びを人々にあかしすることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

その後、復活のろうそくに献香をすることができる。

12 続いて、復活の主日の場合、一同は詩編交唱を唱え、通常どおり「朝の祈り」を続ける。復活の月曜日から復活節第二主日までの場合、一同は賛歌を歌い、通常どおり「朝の祈り」を続ける。